

令和6年 新しい年がスタートしました
本年も 昨年同様 よろしくお願いたします



新しい年が始まりました。新年明けましておめでとうございます。今年のお正月は、能登半島の地震からの幕開けとなってしまいました。多くの死者や行方不明者、未だ避難生活を強いられている方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

さて、今年は辰年(甲辰 キのえたつ)です。干支の意味を探ると、甲(きのえ)は、十干(甲乙丙丁戊己庚辛壬)の始めて物事の始まり、辰は発芽した植物がしっかりとした形になり、勢いと大きな力がでることから、この二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられるそうです。これまでの南小の営みの芽吹きが、大きく成長していくことを信じて、子どもたちには、昨年同様、前向きにがんばってほしいと願っています。そのためにも、教職員一同、力を合わせて教育活動を力強く進めて参ります。保護者、地域の皆様方におかれましては、今年も本校の教育活動にご支援をいただけますよう、よろしくお願いたします。

「良いこと見つけチャット」から 素敵なお子様達の様子が伝わってきます

昨年から始まった「良いこと見つけノート」が、今年はリーディングDXスクールの関係で進化し、「良いこと見つけチャット」になり、各クラスなどでも、良いこと見つけの輪が広がっています。今回は先生方の「良いこと見つけチャット」から、一部を抜粋して紹介いたします。学校で頑張っている、たくさんのお子様達の様子が少しでもお伝えできればと思います。

**4-1の風間恒一郎ろうさんが**、給食の片付けを終えたあと、1年生のワゴンを見て「手伝わない！」と戻ってきて手伝ってくれました。1年生の届きにくいところを助けてもらってとてもありがたかったです。  
【阿部かおり】

**6年1組の清水純奈・清水美空さん・菊島亜子さんが**、2年生の町たんけんの依頼文を届けに「まるや」さんの近くを歩いていたところ、強風で倒れていた旗を協力して元通りにしていました。誰も見ていなくても、素敵な行動をしていて「流石6年生！」と思いました。  
【秋山実沙】

昨日、小瀬を家内と散歩していたところ、**3年3組の上野瑞月さん**が「校長先生こんにちは〜」と手を振って挨拶をしてくれました。お姉ちゃんのバスケの応援に来ていたとのこと。挨拶をしてくれた事とても嬉しく感じました。挨拶はまさに魔法の道具ですね。学校外でも気さくに挨拶をすることができると瑞月さんとても素敵だなと感じました。きっと、挨拶をする習慣が身についた魔法使いになっているのでしょうね。  
【久保田英樹】

今日の中休みに、校長室をノックする小さな影がありました。「どうぞ」と言ってもなかなか入ってこないで、扉を開けてあげると、そこには小さな訪問者が…**1年1組の廣瀬友哉さん**でした。「どうしたの？」と尋ねると、にこにこ笑顔でこう答えてくれました。「あのね、1学期、2学期がとっても楽しかったから、南小に入って良かったなと思ったの。だから、『ありがとう』を言いに来たの。南小とっても楽しかった。」うれさと驚きの余り、一時言葉を失いかけて、我に戻って「とっても偉いね！ 1・2学期楽しかったんだ。それはきっと、ともやさんが一生懸命頑張ったからそう感じたんだね。校長先生に教えてくれてありがとうね。ともやさんのこのお話を他の先生にも伝えるね。」と伝えると、ともやさんが「うん。ありがと。先生達にお礼を言ったのは校長先生で三人目だから、この後も、他の先生にも言うから、他の先生にも言っているよ。」なのだそうです。あらあら^^ ちょっとほっこりして、笑顔にさせられた午前中のひとときでした。  
【久保田英樹】

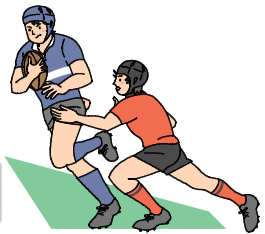
**5・6年生**が、遠足で不在の学年の掃除場所を進んできれいにしてくれました。良いと思ったことを進んで行動に移せる高学年の姿、とても頼もしく感じました。ありがとうございました。  
【堀井ますみ】

**6-2の市川倫子さん、小池未菜さん、伊藤愛莉さん、6-1矢澤真菜さん**が、昨日、農協の前に落ちていた財布を拾い、届けてくれたそうです。農協からお礼の電話をいただきました。だれかが困っていることに気付き、その人のために動くことができること。なかなか難しいことですが、とても立派だと思います。ぜひほかの学級でも話していただき、すてきな6年生を手本として南小がよりよくなれるといいなと思いました。  
【市川安紀】

**5-1の上野優弦さん**は、人が居ようが居まいが、一人で黙々と最後まで丁寧に掃除している様子を、日頃からよく見かけていました。その姿に子どもながら頭が下がります。  
【野尻あや子】

夏休みの本の貸し出しの時、**1-1服部優希ちゃん**が「6年生に読んでもらった本をかりの」と嬉しそうに教えてくれました。「1年生を迎える会」で読んでもらった本が心に残っているようです。とってもステキな事だと、うれしくなりました。  
【有川美雪】

# ちまたで聞いた ちょっといい話 日には見えないが 最も尊い 『尊敬のジャージ』



今年度の全国大学ラグビー選手権大会は帝京大学が3年連続の優勝を飾りました。大学ラグビー強豪校の帝京大学ラグビー部は、今年12度目の全国優勝を果たし、それ以前には前人未踏の9連覇をしていた史上最強の強豪校です。そんな、今でこそ最強の強豪校とまで言われるようになった帝京大学ですが、2年前までチームを率いてきた岩出前監督が監督に就任した頃は、弱



小ラグビーチームの1つでしかありませんでした。帝京大学が今のように強くなってきたのにはいくつかの理由があります。弱小チームだった頃からチームを26年

間率いてきた岩出監督はその理由の1つに「**尊敬のジャージ**」があると話しています。

帝京大学ラグビー部員は約150名。そのほとんどがラグビー部の寮で生活していますが、その寮の玄関を入ると、靴箱はきれいに整頓され、下には泥や土はひとつもなく、入口や廊下はきれいに清掃され、すれ違う学生は次々に「こんにちは」と挨拶をするそうです。岩出監督は「挨拶、掃除、規律」や「面倒くさいことをきちっとやること」が何より大切といつも選手に話しているのだそうです。そんな帝京大学ラグビー部では、「挨拶、掃除、規律、面倒くさいこと」を3・4年生の上級生が率先し、お手本となってやっているそうです。試合会場や練習場の周りも上級生が先頭になって掃除をします。

「なぜ下級生ではなくて上級生が雑用をするのか？」このことについて岩出監督は次のように話しています。「チームや大学の生活に慣れ、気持ちに余裕がある上級生が率先して雑用をすることが部の習慣になっています。入学してきたばかりの下級生が余裕がない中で、練習だけでなく雑用まですることになると、練習に身が入らなったり怪我をしたりして、チームとして何も良いことはありません。また、ラグビーは15人の人間がそれぞれが自分の役割を果たしていくスポーツです。点を取る人間の裏には15人の努力が隠されています。普段の生活の中で、小さなゴミを拾う、掃除を丁寧にするなど大切なことが分かり、そういうことを率先してできる人が、最終的にはラグビーのプレーでも、粘り強く、心の強さを持ったプレーができるいい選手になると思います。」

まだまだ大学生ですので、そのような人間こそが将来社会に出た時に信頼される人間になっていけるのではないかとと思います。」

いつしかこの習慣は、帝京大学ラグビー部の文化になり、ラグビーはもちろんですが、普段の生活の中で嫌なことや面倒くさいことでも率先してできる人は、部員たちの中で『**尊敬のジャージ**』を着ている」と言われるようになっていったそうです。岩出監督は「ラグビーも精一杯行っている先輩たちが、一生懸命にトイレ掃除や、汚れ物を洗濯している姿を見ている下級生たちは、いつしか、そんな上級生の姿や生き方に憧れを持ち、自分もいつかそうなりたいと尊敬の念を抱き、自分も『**尊敬のジャージ**』を身につけたいと思うようになります。学年が変わっても、それが代々繋がっていくようになるとともに、チームも強くなっていきました。」と話しています。

『**尊敬のジャージ**』について、卒業生で現在ラグビー日本代表の流大さんはこう話しています。「僕たちが4年生になったとき、『全員が**尊敬のジャージ**を着て卒業できるように頑張ろう』と仲間と話しました。『**尊敬のジャージ**』を着られているかどうかは他の人が判断することなので自分ではわかりませんが、そうした姿を仲間が見せてくれることで、自分たち自身も多くの力をもらいました。」

ラグビーの試合で、ゲームに出るためにレギュラージャージを着ることができるとは150人中わずか23人。しかし、そのレギュラージャージよりも尊いのが、目には見えず、自分では着ることがわからない



『**尊敬のジャージ**』。でも誰でも着ることができるとも『**尊敬のジャージ**』。ラグビーの試合がある日には、帝京大のジャケットを着た選手たちが、試合会場周辺のゴミを拾う姿が見られます。観客席で応援をする控えの選手は大会の時にブレザーを着てキチッとネクタイを締め、相手の校歌が流れる時やエール交換の時には、全員が背筋を伸ばしてしっかり聞くそうです。

挨拶、掃除、規律、そして『**尊敬のジャージ**』。塩山南小の子ども達も将来仲間から『**尊敬のジャージ**』を着ていると言ってもらえるような人に成長してもらいたいと願っています。

## 南園芸さんより シクラメンを いただきました

南園芸さんに、右側の写真のような立派なシクラメンの鉢植えを6鉢いただきました。ありがとうございました。

南園芸さんには、毎年、塩山南小学校にお花を寄贈していただいていることに対して、この場をお借りして御礼申し上げますとともに、保護者や地域の皆様方にもお知らせいたします。大切に育てていきたいと思ひます。

